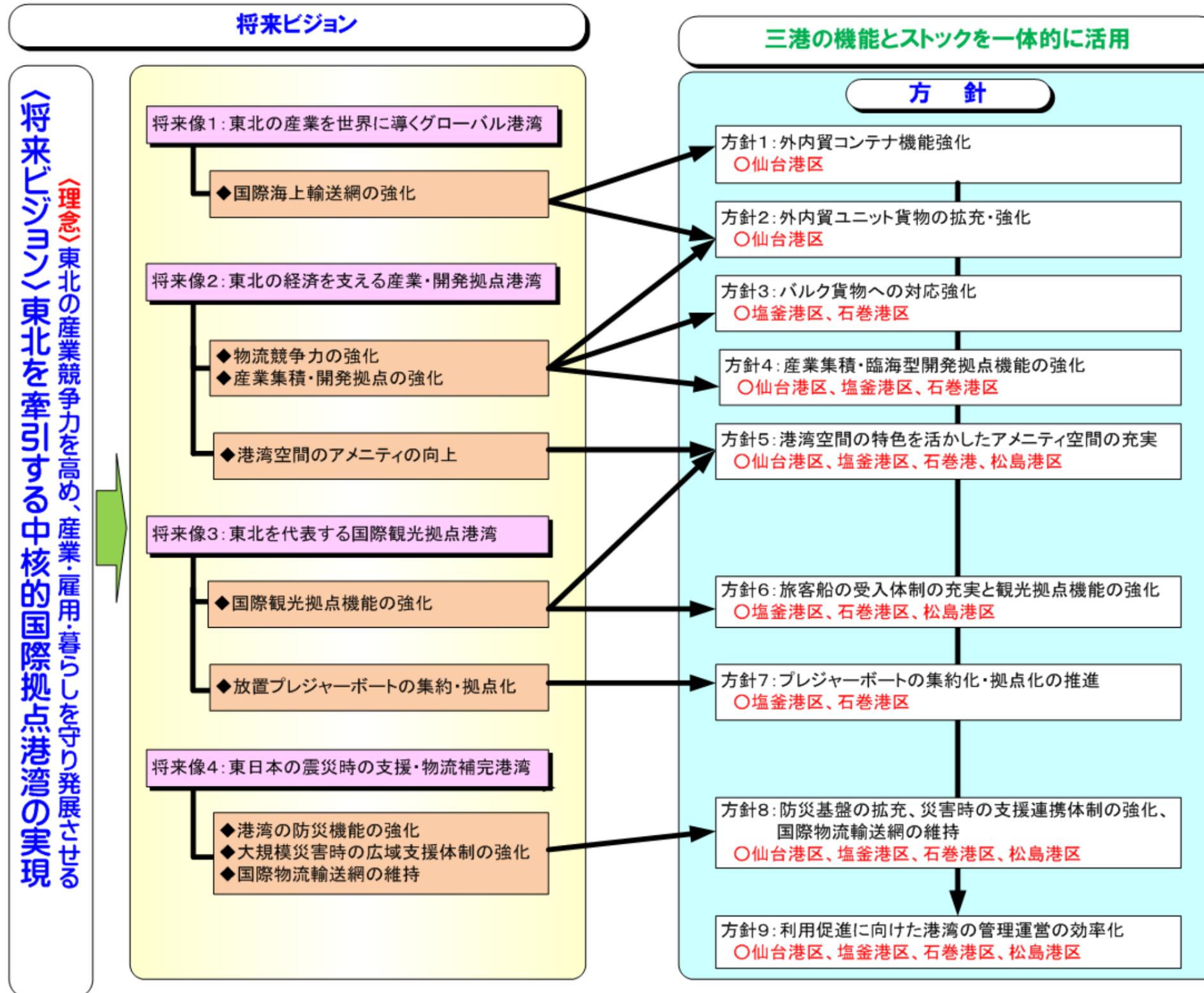


# 【1】 統合港湾の将来ビジョン

仙台塩釜港（仙台港区、塩釜港区）、石巻港、松島港の3港が一体となった統合港湾（以下、仙台港区、塩釜港区、石巻港区、松島港区として仮に港区分けして示します。）としての将来ビジョンとその実現に向けた方針は次のとおりです。



## 【2】 統合港湾の長期空間利用構想(ゾーニングプラン)

### 1. 長期空間利用構想(ゾーニングプラン)の策定に当たっての基本的考え方

統合港湾は、東北の復興を牽引し、先に示した将来ビジョンを実現するため、国内外との貿易・交流基盤、防災基盤等、多くの要請を受け止めていく必要があります。一方で、各港区は、開発位置の地勢、地形条件により、それぞれ空間的特徴や制約を有しているとともに、社会資本の維持・更新費用の増大や新規投資の抑制に対する対応が求められています。

また、東日本大震災からの早期の復旧・復興に対しては、新たなまちづくりが進められており、大規模地震・津波対策の強化・拡充も一体的に進められています。

このような状況に鑑み、統合港湾の長期的空間構想(ゾーニングプラン)の策定に当たっての基本的考え方を次のとおり設定します。

- (1) 多くの要請に対し、統合港湾として一元的に受け止めることで、空間利用の効率化を図ります。
- (2) 機能分担や利用再編により既存ストックを最大限に活用することで、新規開発を最小限とする空間利用を図ります。
- (3) 新たな空間利用に当たっては、長期的な需要を見通し、段階的な開発が可能な空間利用を図ります。
- (4) 背後市町の復興計画と整合した空間利用を図ります。
- (5) 周辺環境に配慮し、自然環境にも調和した空間利用を図ります。

### 2. 長期空間利用構想(ゾーニングプラン)における空間利用及び空間配置の考え方

#### 【仙台港区】

ゾーン区分	地区	空間利用の考え方	空間配置の考え方
物流関連	向洋	<ul style="list-style-type: none"> <li>〈外内貿コンテナ貨物への対応〉</li> <li>コンテナ貨物の増加とコンテナ船の大型化に対応するため、コンテナターミナルの拡充を図り、外内貿コンテナ機能の強化を図る。</li> <li>貨物の急増や航路の増加など、港内側での対応ができない場合には港外への展開を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来の港湾需要に併せて、自然海浜への影響を最小とする範囲内で沖合に段階的に整備が可能な開発空間を確保する。</li> <li>このエリアはコンテナ埠頭としての施設や空間が確保されており、将来のコンテナ貨物量を想定した港外展開を考慮に入れても代替案が考えられないため、外内貿コンテナ取扱機能を当該空間に配置する。</li> </ul>
	中野	<ul style="list-style-type: none"> <li>〈外内貿ユニット貨物への対応〉</li> <li>完成自動車と自動車関連貨物の増加に対応するため、埠頭用地の拡張、及び岸壁の利用再編を行い、外内貿ユニット貨物の取扱機能の強化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>このエリアは、主に完成自動車の取り扱いなど、今後とも利用増加が見込まれるエリアである。空間内での再編は必要となるが、現状利用を踏まえた空間配置を維持する必要があるため、既存空間と同一の配置とする。</li> </ul>
生産	中野南	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業の生産機能として重要で将来的にも有効な既存機能を維持する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>このエリアは鉄鋼関連企業が多く立地しており、十分に活用されていることや、将来も利用の意向があるため、既存空間と同一の配置とする。</li> </ul>
エネルギー関連	栄	<ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー関連機能として重要で将来的にも有効な既存機能を維持する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>このエリアは火力発電所や石油精油所など、重要な施設が立地しており、十分機能をしていることや、将来も利用の意向があるため、既存空間と同一の配置とする。</li> </ul>
交流拠点	中野	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流拠点機能として重要で将来的にも有効な既存機能を維持する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>このエリアは夢メッセみやぎ等の施設が存在し、施設の利用は今後も見込まれることから、既存空間と同一の配置とする。</li> </ul>
緑地・レクリエーション	向洋	<ul style="list-style-type: none"> <li>緑地・レクリエーション機能として重要で将来的にも有効な既存機能を維持する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>このエリアは賑わい空間を形成しており、既存空間と同一の配置とする。</li> </ul>
自然環境保全	蒲生	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然環境保全機能として重要で将来的にも有効な既存機能を維持する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>このエリアは貴重な干潟が存在しており、このエリアの環境保全は強く望まれているため、既存空間と同一の配置とする。</li> </ul>
	湊浜	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然環境保全機能として重要で将来的にも有効な既存機能を維持する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>このエリアは賑わい空間を形成しており、既存空間と同一の配置とする。</li> </ul>
港湾の将来の開発又は保全のため長期的に必要なゾーン	向洋	<ul style="list-style-type: none"> <li>現時点での長期的な見通しの中では利用を定めないが、将来的に需要が生じた段階で利用を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来的にわたり保全が必要と考える空間であり維持する必要がある。</li> </ul>

【塩釜港区】

ゾーン	地区	空間利用の考え方	空間配置の考え方
物流関連	貞山	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域産業を支援する輸送拠点としてバルク貨物取扱機能の強化を図る。</li> <li>港湾利用の高度化、輸送効率化を図るため、貞山埠頭、東埠頭へ貨物の集約を図る。</li> <li>埠頭用地の拡張や上屋の建替などによる貨物の利用形態に応じた使いやすい物流空間の形成を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空間内での再編は必要となるが、現状利用を踏まえた空間配置を維持する必要があるため、既存空間と同一の配置とする。</li> </ul>
	東宮	<ul style="list-style-type: none"> <li>物流関連機能として重要で将来的にも有効な既存機能を維持する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状利用を踏まえた空間配置を維持する必要があるため、既存空間と同一の配置とする。</li> </ul>
生産	港	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産機能として重要で将来的にも有効な既存機能を維持する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>このエリアは造船関連企業が立地しており、十分に活用されていることや、将来も利用の意向があるため、既存空間と同一の配置とする。</li> </ul>
	東宮	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産機能として重要で将来的にも有効な既存機能を維持する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>このエリアは工業団地を形成しており、十分に活用されていることや、将来も利用の意向があるため、既存空間と同一の配置とする。</li> </ul>
船だまり関連 (漁船)	東宮	<ul style="list-style-type: none"> <li>船だまり関連機能として重要で将来的にも有効な既存機能を維持する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>このエリアは漁船船だまりとして機能しており、将来も機能することが望まれているため、既存空間と同一の配置とする。</li> </ul>
	代ヶ崎	<ul style="list-style-type: none"> <li>船だまり関連機能として重要で将来的にも有効な既存機能を維持する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>このエリアは漁船船だまりとして機能しており、将来も機能することが望まれているため、既存空間と同一の配置とする。</li> </ul>
	吉田・花渚	<ul style="list-style-type: none"> <li>船だまり関連機能として重要で将来的にも有効な既存機能を維持する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>このエリアは漁船船だまりとして機能しており、将来も機能することが望まれているため、既存空間と同一の配置とする。</li> </ul>
エネルギー関連	代ヶ崎	<ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー関連として重要で将来的にも有効な既存機能を維持する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>このエリアは火力発電所が立地しており、十分機能をしていることや、将来も利用の意向があるため、既存空間と同一の配置とする。</li> </ul>
	一本松	<ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー関連として重要で将来的にも有効な既存機能を維持する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>このエリアは石油備蓄基地が立地しており、十分機能をしていることや、将来も利用の意向があるため、既存空間と同一の配置とする。</li> </ul>
海上防災関連	港貞山	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポートサービス船、官公庁船等を集約し、海上防災機能の強化を図る。</li> <li>背後の用地についても防災関連施設用地への利用転換を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポートサービス船の集約化は重要であり、さらに、他のエリアにおいて代替案がないため、既存空間と同一の配置とする。</li> </ul>
交流拠点	港	<ul style="list-style-type: none"> <li>「みなとまち塩釜」の活性化に貢献する場として、利用促進を図る。</li> <li>既存埠頭を活用した旅客船受入機能の充実を図る。</li> <li>マリングート塩釜や既存港湾施設の利用転換による集客施設としての魅力の向上を図る。</li> <li>観光拠点化を促進するため、周辺地区への新たな集客施設の誘致を図る。</li> <li>また、周辺観光資源との連携強化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>このエリアは、塩竈、松島観光船の発着ターミナルとして重要であるだけでなく、今後も利用が見込まれることから、既存空間と同一の配置とする。</li> </ul>
緑地・レクリエーション	東宮	<ul style="list-style-type: none"> <li>増加するプレジャーボートの抜本的収容対策を図るとともに、海洋性レクリエーションの場として、空間利用を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「特別名勝松島」の保護地区の区域外で、必要な開発空間が確保されていること、アクセス性が良いこと、法規制や他の船舶との交錯がないこと等の条件を満たす唯一の空間であるため、当該空間に配置する。</li> </ul>
	代ヶ崎	<ul style="list-style-type: none"> <li>緑地・レクリエーション機能として重要で将来的にも有効な既存機能を維持する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>このエリアは賑わい空間を形成しており、既存空間と同一の配置とする。</li> </ul>
	港	<ul style="list-style-type: none"> <li>緑地・レクリエーション機能として重要で将来的にも有効な既存機能を維持する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>このエリアは賑わい空間を形成しており、既存空間と同一の配置とする。</li> </ul>
	中の島	<ul style="list-style-type: none"> <li>緑地・レクリエーション機能として重要で将来的にも有効な既存機能を維持する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>このエリアは賑わい空間を形成しており、既存空間と同一の配置とする。</li> </ul>

【石巻港区】

ゾーン	地区	空間利用の考え方	空間配置の考え方
物流関連	雲雀野	<ul style="list-style-type: none"> <li>背後圏に立地する工場の原材料及び燃料の輸入・移入の拠点として、船舶の大型化に対応したバルク貨物取扱機能の強化を図り、バルク貨物の集約化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状利用を踏まえた空間配置を維持するとともに、船舶の大型化とバルク貨物の集約化に段階的に対応が可能な空間配置とする。</li> </ul>
	釜	<ul style="list-style-type: none"> <li>物流関連機能として重要で将来的にも有効な既存機能を維持する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状利用を踏まえた空間配置を維持する必要があるため、既存空間と同一の配置とする。</li> </ul>
生産	雲雀野	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産機能として重要で将来的にも有効な既存機能を維持するとともに、既存企業の生産活動の拡大や新規企業誘致に対応した空間形成を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存企業の生産活動の拡大や新規企業誘致を促進するため、効率的な生産活動が可能となる物流関連ゾーンの背後空間に配置する。</li> </ul>
	釜	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産機能として重要で将来的にも有効な既存機能を維持する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>このエリアは木材関連、飼料関連、食品関連等の企業が立地しており、十分に活用されていることや、将来も利用の意向があるため、既存空間と同一の配置とする。</li> </ul>
船だまり関連 (漁船)	釜	<ul style="list-style-type: none"> <li>放置プレジャーボートの抜本的収容対策を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存施設の有効利用を図り、放置プレジャーボートの収容空間を配置する。</li> </ul>
	大曲	<ul style="list-style-type: none"> <li>船だまり関連機能として重要で将来的にも有効な既存機能を維持する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>このエリアは漁船船だまりとして機能しており、将来も機能することが望まれているため、既存空間と同一の配置とする。</li> </ul>
緑地・レクリエーション	雲雀野 (西)	<ul style="list-style-type: none"> <li>石巻港区の中心に位置することから、市民に港湾を解放するための緑地として空間利用を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>雲雀野の防波堤に沿って、多目的に利用が可能な、緑地・レクリエーション空間を配置する。</li> </ul>
	内港 ～雲雀野	<ul style="list-style-type: none"> <li>水際線の解放による親水空間や海洋性レクリエーション空間として利用を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>内港地区は賑わい空間を形成してきており、そこから雲雀野地区東までの水際線をウォーターフロントプロムナードとしての空間を配置する。</li> </ul>

【松島港区】

ゾーン	地区	空間利用の考え方	空間配置の考え方
船だまり関連 (漁船)	東浜	<ul style="list-style-type: none"> <li>船だまり関連機能として重要で将来的にも有効な既存機能を維持する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>このエリアは漁船船だまりとして機能しており、将来も機能することが望まれているため、既存空間と同一の配置とする。</li> </ul>
交流拠点	海岸前	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本三景「松島」の海の玄関口として、利用促進を図る。</li> <li>また、周辺観光資源との連携強化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>このエリアは、松島観光船の発着ターミナルとして重要であるだけでなく、今後も利用が見込まれることから、既存空間と同一の配置とする。</li> </ul>
緑地・レクリエーション	浪打浜	<ul style="list-style-type: none"> <li>緑地・レクリエーション機能として重要で将来的にも有効な既存機能を維持する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>このエリアは賑わい空間を形成しており、既存空間と同一の配置とする。</li> </ul>

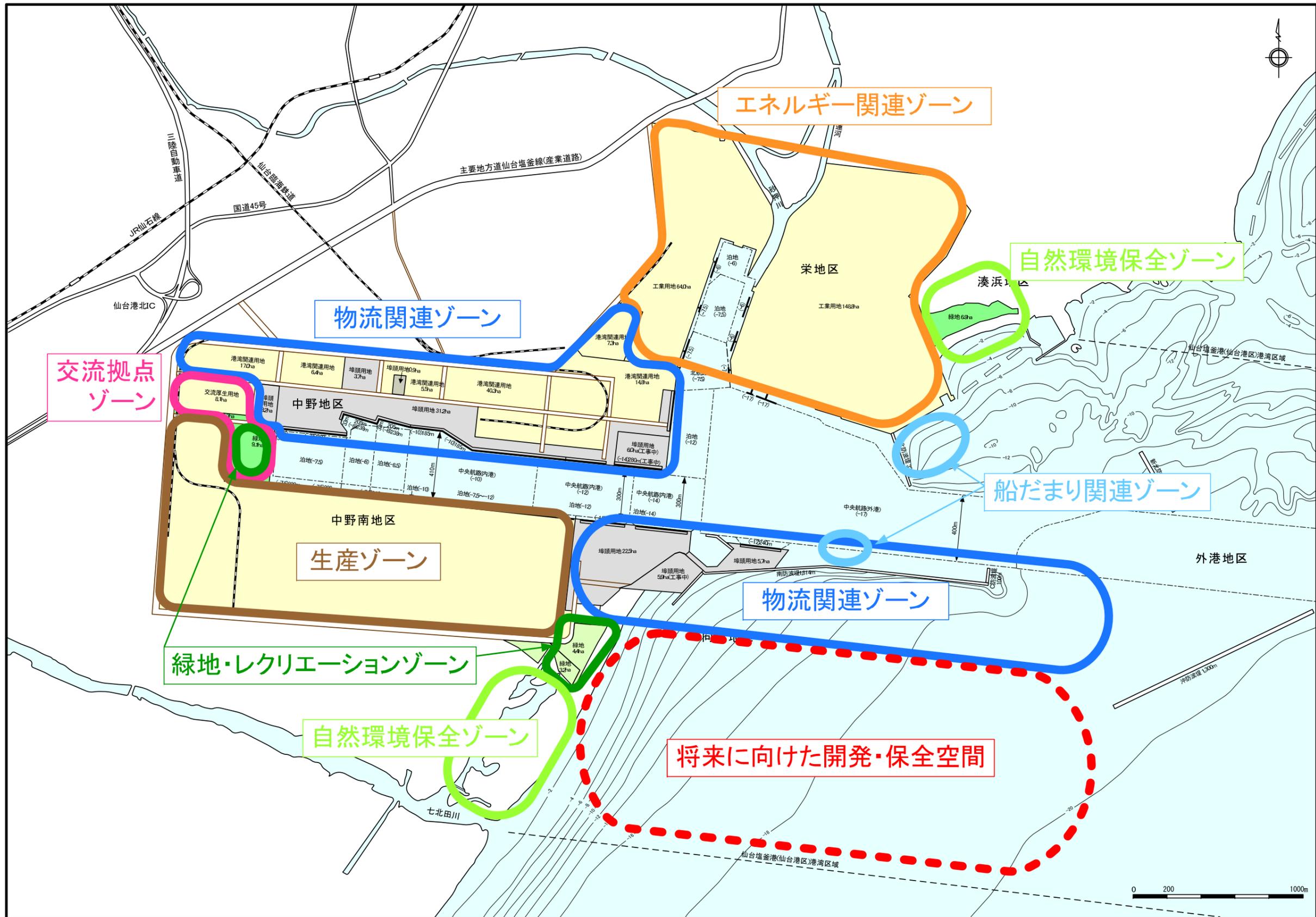
3. 長期空間利用構想を複数案設定しない理由

- 統合港湾の将来の開発空間は港湾区域及び臨港地区を基本に検討していくこととなりますが、既に利用されている港湾施設との関連や新たな開発空間を設定するに当たって配慮すべき諸条件を考慮すると、長期的に開発が可能な空間として検討できる範囲は極めて限定的なものとなります。
- 統合港湾の長期構想は、この限られた開発空間の中で、将来需要に応じた空間利用構想(ゾーニング)を策定するものであって、開発空間そのものを複数案比較検討しようとする、そもそも開発すべきではない、あるいは開発ができない等の空間を含めた比較検討にならざるを得ないことから現実的ではないと考えています。
- したがって、本長期空間利用構想では、この限られた開発空間の中で、空間利用に関しての様々な条件を踏まえ、港湾利用及び港湾運営上の観点、投資額等の経済効率性の観点、また周辺環境への影響の観点などに配慮して最適な空間利用構想(ゾーニングプラン)をお示しするものです。

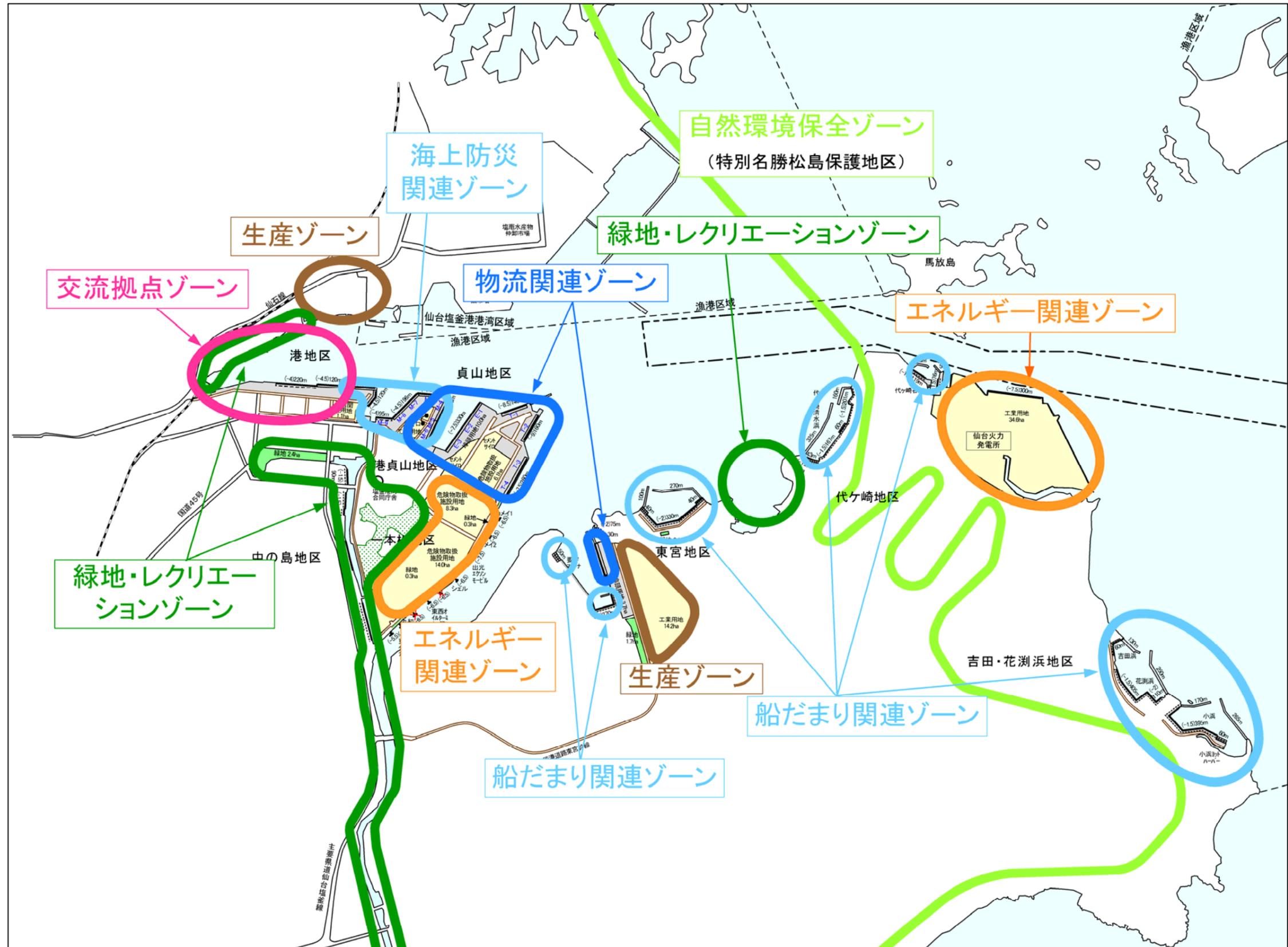
4. 長期空間利用構想(ゾーニングプラン)

- 仙台港区の長期的な機能配置(空間利用構想)(別図参照)
- 塩釜港区の長期的な機能配置(空間利用構想)(別図参照)
- 石巻港区の長期的な機能配置(空間利用構想)(別図参照)
- 松島港区の長期的な機能配置(空間利用構想)(別図参照)

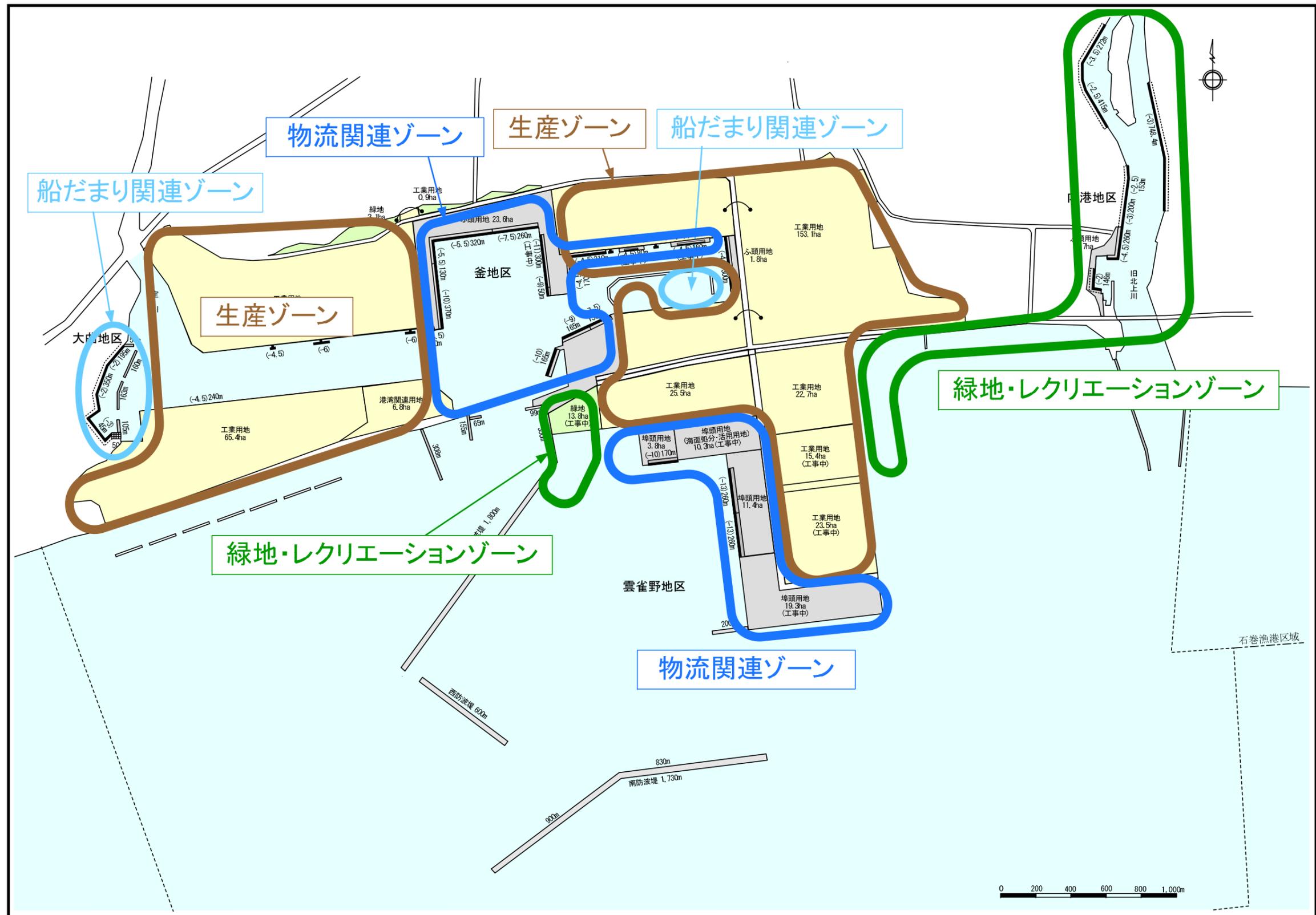
# 仙台港区の長期的な機能配置（空間利用構想）



# 塩釜港区の長期的な機能配置（空間利用構想）



# 石巻港区の長期的な機能配置（空間利用構想）



# 松島港区の長期的な機能配置（空間利用構想）

